社会福祉法人　ボワ・すみれ福祉会

輝いて明日へ

２０２２．１．１４

法人理念

一人ひとりの命を大切にする
人権尊重の理念に基づいた
利用者支援を行い
誰もが豊かに暮らせる
地域社会をつくります

新年のごあいさつ

社会福祉法人　ボワ・すみれ福祉会
理事長　田部井　眞

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

感染者数も増加傾向にあり、第６波がやってきます。感染防止対策を徹底して乗り切っていきたいと思います。

新しい年を迎え、２０２２年度がよりよい未来へ向かう新たな年度となるよう職員と一緒に法人経営、事業所運営を行っていきます。

現在、策定中の経営計画を４月から実施することになります。人事評価育成制度に必要な管理者向けの評価者研修も１月からスタートします。省力化、合理化のための新たなシステムも導入し、より効率的な運営を目指していきます。職員が要の私たちの事業は、職員の専門性の向上や支援に対する科学的なアプローチがますます必要となってきます。そのために、育成の仕組みとして、人事評価育成制度をさらに分りやすく使いやすいものに仕上げていきます。その結果として、ご利用者の人生により添い、ご利用者の幸せをしっかり考え安心で豊かな時間を過ごせるように取り組み、サービスを提供していきます。

２月には町田市長市議選が行われます。新たな町田の発展につながるものとして１票を投じていきたいと思います。選挙を通じた意思表示をご利用者ご家族職員が行うことが重要です。

また、大きな自然災害が近い将来やってきます。その時のために命を守り生き延びるための必要な準備もできるかぎり行っていきます。

いろいろなマイナスイメージの出来事があると思います。しかし、その時間に生活するのであれば、できるだけ笑顔でいられるように前向きに、この時代を生きていこうと思います。ボワ・すみれ福祉会、地域社会が一つのコミュニティーとして幸せを感じられるように目指していきます。

ボワ・すみれ福祉会 表彰式

ボワ・すみれ福祉会では、令和３年１１月１８日に予定しておりました「２０２１年度 表彰式」は、新型コロナウイルス感染防止を鑑み、受賞者の皆様ならびにご列席者の皆様の安全確保を最優先に考慮し、法人としての式典は中止させていただきました。

その為、表彰状贈呈は、役員等功労者の方々には個別で、永年通所のご利用者、永年勤続の職員の方々には各事業所で対応させていただきました。

受賞された皆様、おめでとうございます。　（松浦　綾子）

二〇二一年度 表彰者

【役員等功労表彰】

渋谷　政行　様・齋藤　謹也　様
井上　勉　様・梅橋八重子　様
森山　知也　様

【永年通所利用者表彰】

（永年通所30年以上）
廣木　純一　様

（永年通所20年）
岡村　茂幸　様・柳澤　正昭　様
増田　裕介　様・山際　章　様

（永年通所10年）
藤村　元気　様・唯野　瞳　様
宮崎　自生　様・宮島　愛　様
安川　生　様・小久保龍夫　様
江口　博之　様・梶野　利一　様
吉川　京　様・間嶋明日香　様

【永年協力者表彰】

（花の家協力20年）
轟　由美子　様

【永年勤続職員表彰】

（永年勤続20年）
古賀　井子　様・星野すみ子　様
稲田　拓也　様

（永年勤続10年）
堀部　智美　様・細野あづさ　様
吉田　恵美子様・谷坂　七枝　様
太田　光子　様

生活介護　花の家

新しい一年の歩み

一昨年に続き、コロナ禍での一年が過ぎました。

重い障がいのある方が多く通う花の家では、安心と安全への視点が欠かせません。一年間の事業運営をするに当たって、どの場面においても、常に「コロナ」と絡めて考えざるを得ない状況でした。萎縮してしまいがちな管理者の心を励ましてくれたのは、職員達でした。車内環境や一台当たりの乗車人数、ルート調整といった送迎方法に始まり、活動内容やイベントの開催方法、衛生面の配慮や健康管理、研修や会議の開催方法等のあらゆる面において、職員全員が様々なアイディアを出し合う中で、＜安心・安全＞と＜生活の質＞というバランスを保つことができました。

そんな職員達の工夫にご利用者は笑顔で応え、保護者達は惜しみない協力をくださいました。文字通り、全ての花の家関係者が力を合わせて大きな波を乗り切ったと感慨深く思います。

これから始まる新しい一年も、皆で協力し合いながら、楽しく充実した日々を過ごせるよう歩んでまいりたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。　（畠山　史郎）

表彰式報告

まだ暖かさの残る１１月１８日に、花の家で表彰式が行われました。

今年の永年通所利用者表彰では、永年通所３０年以上で「廣木純一様」。永年通所２０年で「岡村茂幸様」。永年通所１０年で「唯野瞳様」「宮﨑自生様」「宮島愛様」「藤村元気様」の６名が盛大に表彰され、多くの方から祝福されていました。最初は緊張されている表情でしたが、会が進むにつれて表情が穏やかになり、最後はホッとされたのか笑顔も見られていました。

花の家に１０年・２０年・３０年以上と通われ様々なことがあったと思いますが、その多くの経験の積み重ねが、６人の自信に満ちた凛々しくも堂々とした表情になっていたのだと感じました。

（宮本　翔）

摂食指導報告

今年度より年３回、町田市歯科医師会の協力をいただき、食事に関しての指導が始まりました。姿勢や正しい食べ方、現在提供している形態がご本人に適しているか等、「美味しく・安全」に給食を召し上がっていただけるように評価と指導をしていただいています。

また、評価を受けてご家庭でも摂食訓練を希望される場合には、町田市歯科医師会の障がい者歯科診療所との連携が出来るようにもなりました。

世の中には美味しい食べ物がたくさんありますね。それらを「美味しい！」と心から思える豊かな食事の時間が送れるように、指導を通して日々の支援に活かしていきたいと考えています。（原 沙織）

成人式

今年度花の家で成人を迎えられたのは、Ａグループ松川かんな様、Ｂグループ宮崎雅大様、Ｄグループ石山愛実様、Ｆグループ佐藤孝紀様の４名。いつもと装いも違い少し緊張した様子で成人式に出席をしていました。

思い起こすと、昨年度の４月に入所をしましたが、みなさんご存知の通り新型コロナウイルスが流行し緊急事態宣言が発令され花の家も約２か月間の閉鎖となりました。その後も、感染症対策の為にさまざまな行事なども中止や延期になってしまいました。

今後もまだまだ予断を許さない状況ですが、この新型コロナウイルスが落ち着き、日常が戻ってきたら花の家での行事などを企画し先輩や後輩達と楽しい時間を過ごしてほしいと思っています。

（下山 修平）

就労継続支援Ｂ型　クッカ広場

法人表彰式

コロナ禍で各事業所単位の開催となりました。１１月１８日（木）花の家２階ホールにて２０２１年度クッカ広場法人表彰式を行いました。勤続１０年３名・２０年３名計６名のご利用者と勤続２０年の職員１名が表彰されました。皆様おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待しています。

（星野　すみ子）

クッカお楽しみ会

「どこかに行きたーい」「旅行がしたーい」「楽しいことはないのか」「おいしいものを食べに行きたーい」日々あちらこちらからご利用者の声が聞こえていました。コロナ禍で毎年楽しみにしていた研修旅行も花の家まつりも、様々な行事や催し物を中止せざるを得ない状況となり、ご利用者のストレスも積もるばかりでした。そんな中、今回赤い羽根共同募金会の配分金をいただくことができ、クッカお楽しみ会を開催することができました。まだ新型コロナウイルス感染症に不安のある状況で外出することはできませんでしたが、花の家２階ホールでおいしい食事とデザートを満喫し、仕事以外での触れ合いを楽しみ、ゲーム大会に真剣に参加し、本当に楽しい時間を過ごすことができました。「お弁当すごかったね」「すごく楽しかった」「またやりたいね」と大変好評でした。赤い羽根共同募金にご寄付していただいた皆様には心から感謝申し上げます。

（星野　すみ子）

相談支援　かけはし

昨年のかけはしの業務を振り返ると、大きなトピックが二つあったように思います。

一つ目は、言わずもがなの「新型コロナウィルス感染」です。特に猛威を振るった第５波の影響は大きく、長らく対面での面接を控えざるを得ない状況が続きました。緊急事態宣言が解除された１１月以降では通常通りの面接を再開させています。やはり、直接表情や肉声から感受できるところは大きく、対面でできる面接のありがたみを実感しています。

二つ目は、「連絡協議会」と「ネットワーク」です。これまでも地域連携の重要性は言われてきましたが、国が目指す「共生社会」に向けた「地域包括支援」等の施策の動きが本格化してきたということでしょう。私が参加した連絡会等だけでも、「法人連相談支援事業所連絡会」「町田市特定相談支援事業所連絡会」「町田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会」「町田市障害児相談支援事業者連絡協議会」、「忠生エリア凸凹ネットワーク」がありました。

地域を最も限定した「忠生エリア凸凹ネットワーク」については、当初、その名称に思うところもあったのですが、一人の人の中にはいろいろな凸凹があり、また、各相談支援事業所にも得意とする領域とそうではない領域があったりする（凸凹）こと等を考えるとなかなか良いネーミングと思うようになりました。

ご利用者の多様なニーズに対し、「かけはし」という事業所の凸凹を意識した上で、他の事業所とも連携を図りながら、パズルのピースを合わせるようにして隙間のない支援をしていければと思います。

今年もご利用者と地域、機関と地域等をつなぐ「かけはし（梯）」となるべく尽力してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

（畠山　史郎）

成人する方のご紹介

今野　昌俊　様

～家族から～

元気に成人を迎えられ、感無量です。医ケアもあり、押し潰されそうな日々を過ごした事もありますが、昌俊は周りの人を癒し、幸せな気持ちにさせてくれる天才です。

もしかしたら、この才は混沌の時代の社会的使命であり、そのために生を受けたのではないかと考えずにはいられません。そんな我が子を誇らしく思います。

～職員から～

今野様が笑顔になると自然と周囲も笑顔になる「心のほっこりムードメーカー」です。楽しい事・嬉しい事など共有する日々は、傍で寄り添う支援の醍醐味を私たち職員に与えてくれる大変大きな存在です。元気に通所し、スヌーズレンや音楽、草木染など、様々な活動・作業に積極的に参加しています。ムーブメントとピーナッツ型バランスボールでの体の取り組みが大好きです。うつ伏せでのマッサージとデザートはもっと好きです。

そして、絆を育む人との関わりはもっともっと大好きです(*^-^*)　　（関根　まき子）

勝永　皓己　様

～家族から～

成人おめでとう！いつも元気一杯、お散歩といたずらが大好き。お散歩ではいつも、すれ違うひとに「こんにちは」と、ご挨拶。しゃべれなくてもスマイルひとつで、心はちゃんと伝わっているよ。お母さんはそんな皓己が大好きです。お姉も遥己も、いつも皓己を応援しているよ。これからも周りの方々に感謝の気持ちを忘れずイケてるお兄さんになって下さい。

～職員から～

草木染や納品に参加して、お母さんへプレゼントを贈るためにお仕事を頑張っています。イタズラすることも大好きで、毎日楽しい時間を過ごしています。２０歳になり、大人の仲間入りをした皓己さん。頑張るとき、遊ぶときのメリハリをつけて、これかも沢山楽しみましょう(´▽｀*)

（市川　頌乃）

佐藤　生奈　様

～ご家族から～

予定日より２か月以上早く極低出生児で４人兄姉の末っ子として産まれました。無呼吸発作を連発して脳性麻痺になり、肢体と知的に障害を持ちました。幼少期は不自由な姿に将来を悲観したこともありましたが、成長すると共に良く笑い、喃語で意思の疎通も出来るようになり、ムードメーカー的存在になりました。あんなに小さくて生きていけるか不安だった娘が今は花の郷で活き活きと過ごし、二十歳を迎えることが出来た事に感無量です。

～職員から～

ご家族からの愛を沢山受けて育った佐藤様。いつも「(おはようござい) ます！」「さようなら！」などと、元気に挨拶をしたり、音楽やレクでは積極的に「はい！」と参加したり、創作では「ぺったん」と、のりやテープ付けもお手の物♪今ではＢグループのムードメーカーです！これからも、金メダル級の笑顔で過ごせるように願っています☆　　（安西　百花）

災害時にも温かく安心できる食事を

１０年以上前の備蓄食品といえば、かんぱんと水が定番で、災害意識も低かった時代から、２０１１年の東日本大震災での被災経験から得た教訓に、マニュアルやパンフレットが作成されて、各施設でも３日分の水やお湯があれば食べられる食材を備蓄するようになりました。

首都圏が被災した場合、首都直下地震では、７２０万人以上、南海トラフ地震では９５０万の避難者が想定され、食料などは７日間分準備することが標準の備えとされています。首都圏で大地震が起きた場合には、東北の時に比べて物資が届くのも遅くなると言われており、ライフラインが止まることも想定され、備蓄食品と熱源の確保が重要です。

そこで、ボワ・アルモニーでは、有事の際、すぐに対応出来るように毎月、炊き出し訓練をしています。通常の給食の在庫食品（米、乾物、缶詰、調味料等）で作ることが出来て温かく、ご利用者に喜ばれるメニュー作りを心掛けています。実際に、灯油やまきを燃料にして使用するかまどで調理を行って給食で提供しています。火力が強く、お湯も早く沸き、ご飯もふっくら美味しく炊けますので、ご利用者はいつもの給食と同様に美味しそうに召し上がり、全員が完食されています。非常時でも最大限の工夫をし、食事のご提供が出来るように今後も取り組んでまいります。　　（宮城　真理亜）

児童支援部

公認心理師の先生による心理研修

児童支援部では、東京家政学院大学（保育臨床心理学）の柳瀬洋美先生に講師を依頼し、心理の研修会を年に２回実施しています。

職員が日々、子どもたちとの関わる中で疑問に思うことや難しさを感じている対応について、柳瀬先生に相談し、児童の行動や心理的要因について専門的な視点からのアドバイスをしていただいています。事前に相談児童の様子(活動や職員対応含)を見学していただき、後日、研修会を実施する流れになっており、発達や障がい特性など基本的な講義の後、事例について具体的なアドバイスをしていただきます。

年に２回と回数は限られるものの実際の様子を見て頂き、アドバイスをして頂けるため、とても分かりやすく「もっとできることがある」と職員は新しい気付きを得たり、「今の支援が間違っていなかった」と自信や後押しに繋がることとも多くあります。（角井　まな）

９月２２日に行われた研修会より職員アンケートを一部ご紹介！！

●職員が返事をしても、何度も同じ質問を繰り返す児童の対応について・・

『成長の中でたくさんの感情を持ち増えても、表出の手段が追い付いていない。本人にとってその手段が「質問をする」という形で出ているのではないか』という話を聞き納得ができました。不安からくる質問に対応しながら、聴覚以外での刺激をプラスし、安心できることを積み上げていきたい。

●床や壁を激しく叩く等、行動や感情が激しくなっている児童について‥

『大きな心の揺れは感情が豊かになっていく過程』という説明にハッとしました。激しい行動をややマイナスなことと捉えてしまっていたのですが‥。これからも本人の中で芽生えるたくさんの感情に気づき、適切な方法で表現できるようコミュニケーションをとり、支援していきたいと思いました。

『障がいの有無にかかわらず、特に幼少期において「他者から尊重された」「愛情をもって受容された」という経験はその後の本人の生きる支えとなっていく。』これは、いつもなるほどと思い、心に響きます。日々の支援の中でも、心にゆとりをもって接することができるよう心がけたいと思います。

赤い羽根共同募金のご報告とお礼

今年も１０月１日～１２月２８日の期間で、町田市社会福祉協議会が事務局となり『赤い羽根共同募金』が行われました。児童支援部でも、毎年ご寄附の配分を頂き、大型遊具や備品等、普段購入しにくい物品等を購入し、活動等で有効に使わせて頂いております。ボワ・コンサール、ボワ・フルール、ボワ・エールそれぞれの事業所にも募金箱を設置し、児童保護者の皆様からたくさんの募金をしていただきました。
ご協力ありがとうございました。地域の皆様、保護者の皆様の温かいお気持ちを感じながら、これからもより良い事業所運営、豊かな時間の提供ができるよう力を尽くしてまいります。（角井　まな）

近年の赤い羽根共同募金による購入物品

年度	コンサール	フルール	エール
２０１９	製氷機	防災用品（石油ストーブ毛布、ランタンなど）	クッションチェア エアレックスマット
２０２０	ソフトミラープレート	ヨギボークッション	活動用パソコン スピーカー
２０２１	ボーネルンド社製 知育玩具		

居住支援部　グループホーム

グループホームひなた

グループホームひなたは、現在５名のご利用者が共同生活を送っています。ご家庭で過ごしているような安らげる雰囲気を大切にしつつ、共同生活をするうえでのルールを守りながら生活されています。

また食器やテーブル拭きといった役割を担うことで、自立に向け、責任感を育むことができるように支援を行っています。

気分転換として定期的に外食や日帰りレクを行っていましたが、コロナ禍ということもあり昨年度以降はデリバリーを利用した食事をするなどして楽しんでいます。　（摂待　慎市）

赤い羽根共同募金の助成

赤い羽根共同募金の助成を受けてボワ・ミニヨンのエアコンを新しく購入しました。今まで使用していたエアコンは長年使用していたため経年劣化から効きが悪く、使用していても適温になりませんでした。そのためご利用者からも「部屋が暑いよー」と意見が出ていました。

８月に新しく購入し、その後は涼しい部屋の中でオリンピック観戦や休日を過ごすことができ、冬になってからも寒い思いをすることなく、暖房の効いた居室で快適に過ごされています。（山本　純）

ボワ・すみれ福祉会後援会

寄付金事業報告

会員を募集しております

２０１８年(平成３０年)から行って参りました、法人への寄付金事業は、本年度も１２月１５日に櫻井会長から田部井理事長に寄付金３０万円を贈呈致しました。また、後援会資料の発送作業をお願いしている利用者様へ原副会長より工賃をお渡し致しました。

この様な取り組みが出来ますのも、後援会にご協力下さいます皆様のおかげです。会員の皆様に心より感謝致しますとともに、来年度以降もこの取り組みを継続できますようご協力のほど、よろしくお願い致します。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様お正月はいかがお過ごしでしたか？冬季オリンピックに向け、各スポーツの日本代表が決定し始めていますね。選手の頑張っている姿を観て、自分も頑張ろう！！という気持ちになりました。

今年も感染症対策をしながら元気に過ごしましょう！　（松浦　綾子）

発行 社会福祉法人ボワ･すみれ福祉会　理事長　田部井 眞
東京都町田市下小山田町 3267-2
TEL：042-797-6004(代) / FAX：042-797-4824
E-mail：hananoie@mvb.biglobe.ne.jp
https://bowasumire.jp/